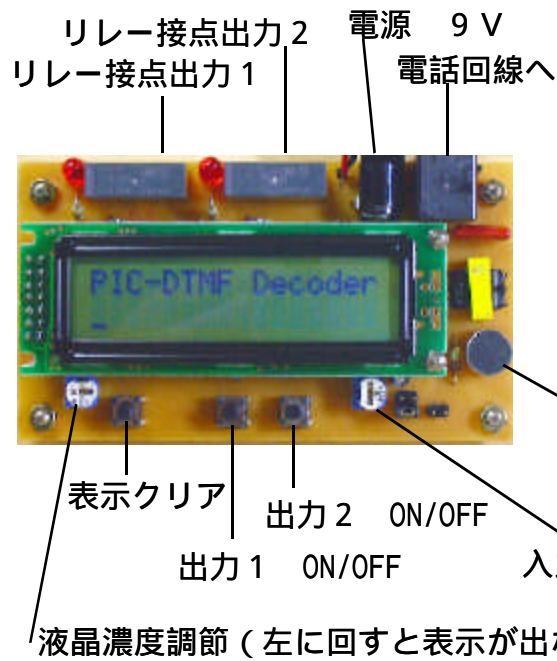


D T M F 新電話リモコン ユニット

基板上完成品 D T M F - 0 1

電話回線に接続して2チャンネルのリレーをON/OFFできます。ON/OFFの暗証番号はそれぞれ別々に最大16文字まで設定でき、電話回線を通じて動作確認音が聞けます。液晶表示器にはD T M F トーンの番号が表示されます。D T M F トーンの表示のみでのご使用の場合006P乾電池でのご使用ができます。ジャンパーもはんだ不要で、モジュラージャックがついて接続が容易になりました。



仕様
電源

D T M F 表示時	9 V (0 0 6 P 乾電池)
	9 ~ 1 2 V 2 . 1 センター +
電話リモコン時	1 2 V 2 . 1 センター +

消費電流 7 m A (リレー非動作時標準)

入力 内蔵コンデンサマイク または 電話回線

基板サイズ 5 9 × 1 0 3 m m

表示 液晶 1 6 桁 2 行

出力リレー 2チャンネル

電話回線モニター機能、リレー状態モニター機能

コンデンサマイク

A C アダプタで使用するときには、バッテリースナップの金属部が基板の金属部に触れることがないようにご注意ください。最悪の場合IC等を永久破壊することがあります。ビニルテープなどを貼っておくと安心です。

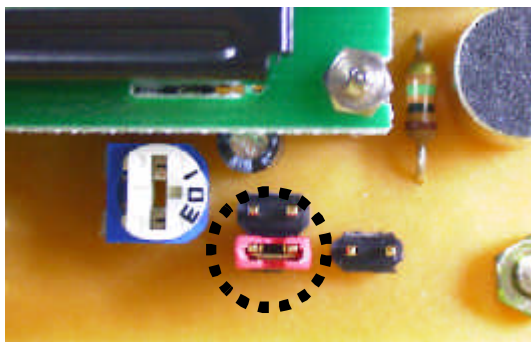
【入力の切り替え】

標準では内蔵コンデンサマイクの入力となっています。

最終的に電話回線に接続する場合でもマイク入力で動作を確認した上で変更した方が動作しない場合の原因がわかりやすいでしょう。

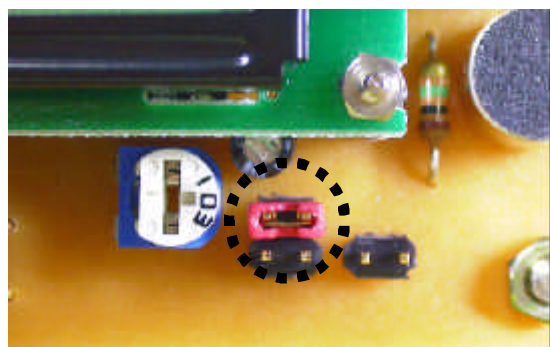
電話回線に直接接続する場合は下図の右側の設定にジャンパーを変更してください。

内蔵マイク入力設定
出荷時は内蔵マイク入力に設定してあります。



下側に設定

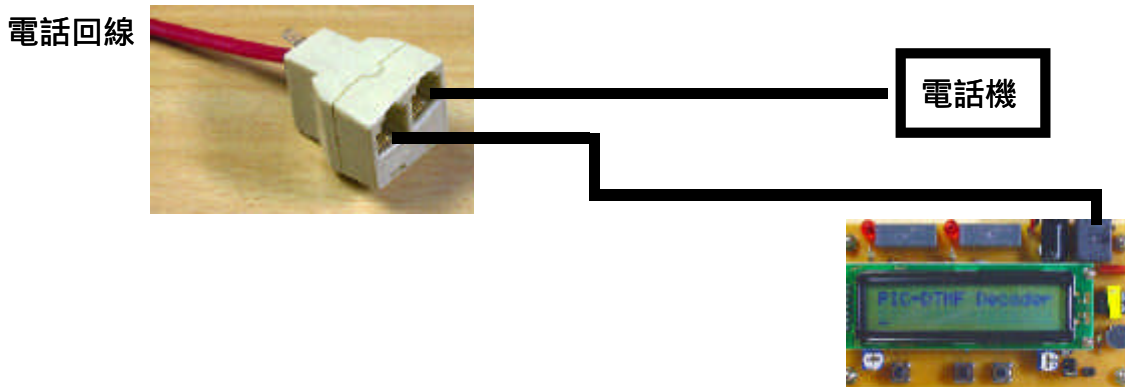
電話回線設定



上側に設定

電話回線に直接接続する場合は下図のようなモジュラー 2 分配ジャックを介して 2 分配してから接続してください。

(留守電または F A X の回線側と並列に接続する。)

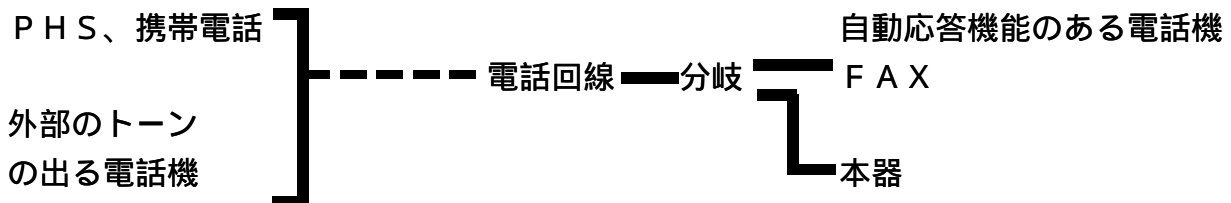


【動作確認】

電話回線に D T M F トーン信号が入ってくると液晶表示器に表示が出ます。表示が不安定な場合は感度調節ボリュームを回して最も安定に表示が出るように調節してください。なお、音声などのガイダンス等と D T M F 信号が重なると表示が不安定になることがあります。できるだけ重ならない状態でご使用ください。また、内蔵マイクで受けるときはスピーカーの音量とマイク感度、マイクとスピーカーの距離によって誤表示の状態が変わりますのでいろいろな状態で最適位置を見つけてください。

【応用例】

接続は下図ようにしてください。



【暗証番号の設定】

一端電源を切ります。(D C プラグを抜く)

次に出力 1 ON/OFF スイッチを押しながら電源を入れると現在の設定と C H . A O N C O D E と表示されます。暗証番号を変更するときは表示クリアを押してから、 D T M F 信号を入れて (並列に接続してある電話機をトーン出力にしてダイヤルするか外部より電話をかけてトーン信号を入力する) 希望する暗証番号 (最大 1 6 文字) を入れます。次に出力 1 ON/OFF スイッチを押すと O F F の暗証番号の設定になります。表示クリアを押してから、 O F F の暗証番号を入力し出力 1 ON/OFF スイッチを押せば設定完了です。もし暗証番号を入れそこねた場合は表示クリアを押すか、最初からやり直してください。

出力 2 の設定は、同様に出力 1 ON/OFF スイッチの代わりに出力 2 ON/OFF スイッチを押すことで設定ができます。

【使い方】

例えば1 2 3 4 #がON、4 3 2 1 #がOFFに設定してあります。

(出力1の初期はこの暗証番号を設定しています。)

電話リモコンの設置してあるところに電話をかけ、自動応答中に1 2 3 4 #を押せばリレーがONになります。直接電話回線に接続している場合は確認音が聞けます。ただし出力が変化しなかった場合、音は鳴りません。現在の状態が気になる場合ON/OFFを変更して確認してください。

次に4 3 2 1 #と押せばOFFになります。OFFの時も音で確認できます。

もう一つのチャンネルも同様に動作します。携帯電話PHSの場合も同様に動作します。

確認音の出方

1	ON	—————	—	—	音程上がる		
1	OFF	—————	—	—	—	音程下がる	
2	ON	———	———	———	———	音程上がる	
2	OFF	———	———	———	———	———	音程下がる

音の長さ、数、音程の変化で聞き間違いを少なくしています。

【その他の使い方】

トーン回線で契約している回線の場合、いつも使用している電話機の回線に接続しておくことで、今かけた電話番号が押し間違えたかどうか表示されている番号で確認できます。

マイクも内蔵しているので内蔵マイクを使用して、録音した電話音から、かけた電話番号がわかります。(トーン回線に限ります。また、録音時に音が歪んでいると正常な表示とならないことがあります。マイクを使用しないで直接入力することもできます。)

コードレス電話に接続していると、コードレス子機からリレーをON/OFFのリモコンができます。外線状態でトーンモードにして暗証を押します。家の中から設置場所のリレーのON/OFFができます。

【ご注意】

出力に何かを接続してリモコンするには少々電気の知識が必要な場合があります。また、接続が難しいもの、接続をすると危険が伴う物は接続できません。

電話リモコンをご使用になるには自動応答機能のある留守番電話または自動受信のFAXが必要です。また、その機能があっても接続して使用できることを保証するものではありません。また、自動受信モードは一定時間で回線を自動切断する場合がありますので設定を変更するか再度かけ直す必要があります。

電話番号の表示に使用しているDTMF信号は、ノイズなどに極めて強い仕様となっていますがDTMF信号に近い音やノイズによって誤動作を生じることがあります。

(有) アール・アイ・エフ

〒648-0096 和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410

FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>